



学校図書館だより



2017年9月 22日
横浜市立森の台小学校
校長 酒井 浩明
図書主任 清水あゆみ
学校司書 近江弥穂子

No. 5

夏休みが終わり3週間あまり。日に日に秋らしい気候となってきました。長い夏休み、じっくりと本を読むことはできたでしょうか。夏休みが明けた初日から、図書館はたくさんの児童でにぎわっていて、本に親しんでいる児童が増えていることがよく分かります。秋といえば「読書の秋」。運動会に向けて忙しくなっていますが、時間を作って、ゆったりと本を読んでほしいなと思います。自分のお気に入りの一冊に出会えたら幸せですね。たまには、親子で同じ本を読んだり、おすすめの本を読みあたりしてみたいでしょうか。

がっこうとしょうかん 学校図書館からのお知らせ

- 学校図書館に掲示されている日本十進分類表がリニューアル!
- 9月11日から10月6日までイエロー・ブルー・ピンク各コース第2弾がスタートしています! ふるってチャレンジしてみましよう

せんせい 先生のおすすめ本

鳥羽先生 (音楽)	船木先生 (4-2)	川井先生 (4-3)	国府田先生 (4-4)
「フランダースの犬」	「ねこねこ日本史」	「かぎばあさんシリーズ」	「ベルナのしっぽ」
ウィーダ作	そにし けんじ著	手島悠介 著	郡司ななえ著

学校図書館に
あります

学校図書館に
あります

一年生のとき、はじめて図書室からかりて読んだ本です。文字からこんな気持ちを読みとれるのかと、感動したのを覚えています。

あの、みんなが知っている偉人がもしネコだったら...?! おとものサルよりも小さい織田信長、犬を100匹き飼う徳川綱吉、そして法隆寺でつめとぎする聖徳太子。ただいま、NHKアニメも放送中です。

小学校の時に、かぎばあさんシリーズをいつもかりて読んでいました。算数のテスト35点。おまけに家のカギがない。今日はついてない。そんな弘一の前に現れたのは...

27歳で失明したななえさんは、大の犬嫌い。でも子育てのため、盲導犬ベルナとパートナーを組むことに。(子どものころ読んで、感動のラストに涙しました)

トピックス ～足利義満（あしかが よしみつ）～

足利義満は室町幕府の第三代将軍です。父、義詮の死後、足利家の家督を継いで、征夷大将軍になります。当時の室町幕府では有力守護大名の力が強く、将軍の権力がしっかりとしたものではありませんでした。また、後醍醐天皇の系統である南朝が奈良の吉野にあり、京都の北朝との間で南北朝対立という問題も抱えていました。義満は将軍が中心となってリーダーシップをとれる幕府の政治の基礎を確立させるため、有力守護大名である土岐氏、山名氏、大内氏を次々に討ちとっていきます。また、1392年に南朝の後亀山天皇と和睦し、58年にわたる朝廷の分裂を終わらせて、南北朝を1つにすることを実現しました（明徳の和約）。足利氏のつくった幕府を室町幕府と呼びますが、これは義満が住まいを京都の北小路室町へ移したことにちなんでいます。義満は対外貿易にも積極的で、1404年より当時の明との間で勘合貿易（倭寇と区別して正式な貿易船である事が確認できるように勘合符という証明書を使用したことから、この名前がついた）を始めています。晩年には公家、西園寺家から京都北山の地を譲り受け、山荘（後の鹿苑寺）をたてます。この時代の武家様、公家様が合わさった文化を、この山荘の場所にちなみ北山文化と呼びます（代表的な建築物は、鹿苑寺金閣 など）。義満は、朝廷との関係においてもその存在感をアピールしていきます。いろいろな権力を天皇家から奪う一方で、自らの待遇に関しては、臣下の身分にも関わらず上皇（天皇の位を退いたものの呼び名）と同じの扱いをさせています。最終的に義満は特に大切にしていた次男の義嗣を天皇にし、自らは天皇の父親として政治の実権を握る（院政時の上皇のようなもの）、すなわち“皇位篡奪（資格のないものが天皇の地位を奪い取ること）”をもくろんでいたと言われていています。しかし、その実現直前に義満は急死します。その死のあまりのタイミングの良さに、古来より暗殺説がささやかれています。

今月のおすすめの本

「自閉症の僕が」

飛び跳ねる理由」

東田直樹 著

「私が今日も

泳ぐ理由」

一ノ瀬メイ 著

「たからものくらべ」

杉山亮 著

この本は作者の東田さんが13歳の時に書いたものです。日本ではまだ知らない人も多いのですが、世界の20カ国以上でベストセラーになっています。伝えたいのに伝えられない、話すことができないって想像できますか？この本には自閉症である東田さんの思いが詰まっています。

生まれつき右ひじから先がない、一ノ瀬メイ選手。両親は、メイさんを「障害をかくさない」方針で育てました。1歳半から水泳をはじめたメイさんですが、障害に対する社会の考え方を変えたい、そんな思いを泳ぐことで発信しています！！

あなたのたからものはなんですか？！
ともことたかしの宝物くらべ。赤ちゃんの時の足型、海でひろった貝、ちびたエンピツ…ほかにはどんなたからものがでてくるでしょう？！。

編集後記

3年生に、金子みすゞさんの詩を紹介しました。「大漁」「星とたんぼぼ」など、金子みすゞさんの詩には、見えるものと見えないもの、喜びと悲しみ、海の上と海の下、昼と夜など、必ず相反するもの、「すべて2つで1つ」となっています。自分の心と一番遠い人に心を飛ばしたり、見える部分、自立つ部分だけではなく、見えないもの、自立たないものにも心を配ったり、見えないものを見ようと努力する。そうやってはじめて、各人の個性に目が向くのだと思います。金子みすゞさんの「みんなちがってみんないい」というのは、こういった中から生まれた言葉だとではないでしょうか。金子みすゞさんの詩にたくさんふれて、見えないものにも思いを馳せてもらえるとうれしいです。